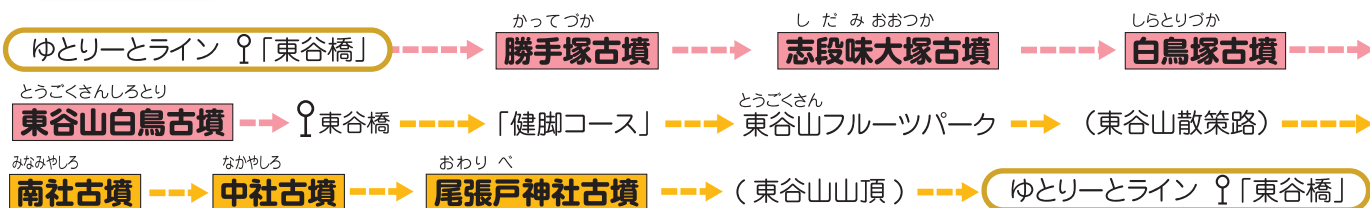


史跡散策路 国史跡 志段味古墳群「歴史の里」めぐり 守山区



※一部の道路については現在区画整理中ですので、現状と違う場合もありますのでご注意ください。

コース順路



コースガイド

守山区上志段味は約70基の古墳が集中する市内最大の古墳密集地で、多くの古墳をまとめて志段味古墳群と呼んでいます。志段味古墳群のように、古墳の出現から終末に至る歴史的な経過を、狭い範囲のなかで明確にたどることができる古墳群は全国的にも珍しいことから、平成26年10月に新しく国史跡に指定されました。

コース最初の東谷山白鳥古墳は、現在市内で唯一完全な形で残る横穴式石室を持つ古墳です。白鳥塚古墳は、市内最古の古墳であり、熱田区の断夫山古墳に次いで市内で2番目の大きさの巨大前方後円墳です。また、志段味大塚古墳・東大久手古墳・西大久手古墳・勝手塚古墳は、前方後円墳の前方部を短くした帆立貝式古墳と呼ばれるもので、帆立貝式古墳がこれだけ集中して築かれている地域は全国的にも珍しいです。

健脚コースでは、市内で最も高い東谷山(198m)へと道が続き、山頂からの展望を楽しんでいただいた後、東谷山フルーツパークへ向かう散策路沿いに、尾張戸神社古墳・中社古墳・南社古墳と3つの古墳を豊かな自然の中で見ることができます。